

津田左右吉物語

第33回

左右吉をとりまく人々

石田幹之助博士（日本大学教授）

石田博士の恩師は、左右吉と同じ白鳥庫吉博士です。「津田左右吉全集発刊に寄す」の中で、「津田先生のような学者は二度と出ないような気が致します。先生のような独創的な、透徹した頭脳はちょっと再び期待することは出来ないのではありますまいか。先生の業績や御人柄には半世紀以上の久しきに亘って親しんできた者であります。今度その完全な全集が出版されると聞いて誠に喜ばしく…」と話しています。



▶石田幹之助博士（左から5人目）



石田博士は国内外の書物を広く研究され、『長安の春』ほか、多くの著書・論考を発表されました。その研究対象は広くユーラシア大陸にまで及び、かつ多方面にまたがっていました。また博士は、その博識と名文をもって世に知られ、聴講の学生を名調子の講義で魅了しました。講義はいつも教室が学生であふれ、学生は席をとるのに大変苦労していました。受講者の一人は当時を振り返り、「今もその一端が脳裏に浮かんでいます」と感想を話しています。